



平成 28 年 4 月 26 日  
一般財団法人 日本航路標識協会

### 「VTS人材育成協力プロジェクト」開始

ASEAN諸国における船舶交通の安全確保のために同諸国で初となるVTS要員のためのASEAN地域訓練センターを設立し、国際標準に合致したVTS要員を育成するプロジェクトを開始します。

(注) VTS : Vessel Traffic Service (船舶通航サービス)

## 1 プロジェクトの目的

昨今のASEAN諸国の経済発展は著しく、物流の拠点となる港湾等のインフラ整備も急ピッチで進められており、同海域における海上貿易は更なる活発化の様相を呈している。しかしながら、ASEAN諸国では、必要な航行安全対策の整備が遅々として進んでいない国もあり、以前にも増して高い海難発生リスクに対応していかなければならない状況にある。

他方、海上における人命の安全のための国際条約である「SOLAS条約」において航行安全対策の一つとして位置づけられているVTS(船舶通航サービス)の導入が近年世界的に進められており、ASEANの複数国から我が国に対しVTS設備の導入やVTSを運用するための人材育成にかかる支援要請が出されている。

VTSの要員は、IMOで国際基準に合致した資格を持つことが要求されているが、国際基準に合致したVTS要員の人材育成制度については、ASEANの一部の国が導入しているものの、ASEAN全体としては育成規模が不十分である。このため、ASEAN諸国における国際基準に合致したVTS研修指導者を先導的に育成しうる、ASEAN全体を対象としたASEAN地域訓練センターを設立し、そこでASEAN諸国のVTS研修指導者を育成することで、ASEAN諸国における船舶交通の安全確保に寄与する。

なお、本プロジェクトは、第13回日ASEAN交通大臣会合(平成27年11月5日)で採択された交通連携における活動の一環「海の安全についての協力(VTS人材育成協力プロジェクト)」として、マレーシア運輸省海事局が提案したものであり、日本政府がASEAN事務局に対して拠出した日ASEAN統合基金(JAIF)を活用して実施される。

## 2 プロジェクトの概要

ASEAN地域訓練センターは、既存施設であるマレーシア海事訓練センター(MATRRAIN:セランゴール州クラン市)を利用し、設立に向け下記事業を実施する

とともに、国際基準に合致した訓練機関としての認定を受けるため、国際航路標識協会（IALA）に対して手続き等を行う。ASEAN 地域訓練センターの修了生には国際基準に合致した訓練を修了したことを証明する資格認定書を発行する。

- ・ VTS シミュレーター等の必要機器の整備
- ・ 教材等の訓練資料の作成
- ・ 国際基準に合致した VTS 教官育成のための訓練実施

### 3 実施体制

本プロジェクト実施にあたり、下記のとおり実施主体を設立する。

- (1) 実施主体 A（一般財団法人 日本航路標識協会）  
プロジェクトの総合調整及び管理、JAIF から受領した資金の管理、機器の調達及び訓練資料の作成
- (2) 実施主体 B（ASEAN 地域訓練センター専門家チーム）  
センター運営方針等の策定、教官及び訓練生の選定、IALA との連絡調整
- (3) 実施主体 C（マレーシア運輸省海事訓練センター）  
実施主体 A と協力した訓練の実施、供与機器の保守運用

### 4 所要額

JAIF によって支援されるプロジェクトの必要経費は、約 4 百万 USD で、その内訳は、機器整備費、訓練実施費、専門家グループ会合開催費及びその他経費である。

### 5 今後の予定

- ・ 平成 28 年 12 月までに、VTS シミュレーター等の機器整備を完了する。
- ・ 平成 29 年 2 月から教材等の訓練資料を作成する。
- ・ 平成 28 年度及び 29 年度において年 1 回、実施主体 B（ASEAN 地域訓練センター専門家チーム）による専門家グループ会合を実施する。
- ・ 平成 29 年 7 月 ASEAN 地域訓練センターの開校式を執り行う。
- ・ 平成 29 年 7 月から 9 月までの 3 ヶ月間訓練を開始し、ASEAN 地域訓練センターのための教官育成訓練を実施する。

### 6 情報の掲載先

今後、本プロジェクトに関する情報等については、一般財団法人 日本航路標識協会のホームページ (<http://www.jana.or.jp/>) に掲載します。



問い合わせ先	一般財団法人 日本航路標識協会
	総務部長 大谷 雅彦
	電話 : 03 - 3230 - 1470
	E-mail : soumu@jana.or.jp